

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

「利他主義」が生む利益を考える ジャック・アタリ (経済学者、ソ連崩壊、ロシアのウクライナ侵攻を言い当てた)

1. AIはハンマーのようなものです。ハンマーは非常に便利なツールで、家を建てることもできますが、人を殺すこともできます。AIは教育やより良い生活を提供する素晴らしいツールにもなり得る一方、多くの仕事を奪います。真剣に検討しなければ、人間の脳を破壊し、少数の利益を増やすためのドラッグとして使われる危険性があります。
2. 世界で拡大する社会的格差を克服していくためには、私がよく言うように、利他主義は利己的になる賢明な方法です。人々にとって他者を助けること、利他的であるということは、実際には自分の利益を追求しているということだからです。
3. 日本の企業にはAIなどの最先端技術を駆使して、インド、フィリピン、インドネシア、中国などの世界市場に向けた新製品の開発が求められます。もちろんAI以外にもバイオテクノロジー、健康分野、神経科学といった次世代の重要技術に取り組むべきです。
(参考:「週刊ダイヤモンド」2025年12月13日・20日)

幹部への活きた言葉

変革を促す「今、ここ」を見る意識

1. 戦略的変革の実践において、曖昧さを払拭し、チームをまとめ、成果を生み出すリーダーに必要な「マインドフルネス」(今、この瞬間に集中すること)。「今、この瞬間」に意識を集中できるリーダーこそが環境変化を的確に捉え、未来に向けてメンバーを導くことができる。
2. 従業員が変化を受け入れるためには、管理者は探究心と新しいことへの挑戦を奨励する環境を整える必要がある。マインドフルネスが高い管理者は、自身と従業員の曖昧さを管理する能力に優れている。マインドフルネスな管理者は、現在起こっている出来事に常に注意を払い続け、曖昧な目標を乗り越えられる。
3. アジアの瞑想(めいそう)法に端を発する、マインドフルネスを育てるシンプルな実践を、企業がマインドフルネス研修プログラムに提供することは珍しくない。リーダーもマインドフルネスに取り組むことで不安を軽減し、狭量で習慣的な注意パターンを断ち切れる。今、この瞬間に集中するマインドフルネスは、リーダーが変革を成し遂げるためのスキルを育成する強力なツールとなる。
(参考:「日経ビジネス」2025年11月17日号)

ワンポイント経営アドバイス

M&Aを使い事業ポートフォリオを入れ替えて成長 徳永俊昭 (日立製作所執行役社長兼CEO)

1. 多くの日本企業が海外展開に苦しんでいる中、日立が成長できたのは、M&A(合併・買収)を使って、事業ポートフォリオを入れ替えたのは大きい。(スイスのABBから送配電事業を買収して設立した)日立エナジーがいなかったら今この状態にないし、(アメリカのデジタルエンジニアリング企業の)グローバルロジックがいなかったらこの状態には絶対になっていない。
2. 絶対に変えてはいけないものは、日立が日立であり続けるための企業理念、そして存在意義だ。ここを変えてしまうと、これまで仲間になってくれていた人と合わなくなってしまう。IT、OT、プロダクトで社会に貢献するという事は、絶対に変えてはいけない。
3. 持続的な成長のためには、今後もポートフォリオの入れ替えを続けていく。それによって資本効率や利益率をさらに高めていくことを継続できるようになったとき、日立はもう一段上のステージに進めるのではないか。2027年度までの事業計画期間中にそこまで持っていきたい。
(参考:「週刊東洋経済」2025年12月6日号)

古典に学ぶ

手を伸ばすか、押し上げるか

1. 泥沼に落ちていく人を助けるために、岸から手を伸ばし声をかけて励まし、その人が岸までたどりつく力を信じて引き上げる。それが「観世音」(かんぜおん)の世界。
2. 泥沼に落ちていく人を助けるために、自ら泥沼に入り、その人の身体を下から持ち上げ岸に押し上げようとする。それが「観自在」(かんじざい)の世界。
(参考:加藤朝胤監修「超訳 般若心経」:リベラル文庫)